

第 41 期第 7 回理事会議事録

日 時：2021 年 2 月 5 日（月） 15 時 00 分～19 時 15 分

会 場：日本気象学会事務室（Web 会議）

出席理事：佐藤薫，橋田俊彦，青柳曉典，池上雅明，植田宏昭，榎本剛，小池真，
齋藤篤思，佐藤正樹，塩谷雅人，竹見哲也，坪木和久，中村尚，橋本明弘，早坂忠裕，
平松信昭，廣岡俊彦，三好建正，渡部雅浩，以上 19 名（理事数現在 20 名）

出席監事：鈴木靖，吉田聡，以上 2 名

その他の出席者：勝山税，志村隆，横手嘉二（事務局）

議 題

1. 協議事項

1) 会員の新規加入等について

新入会 28，退会 102 を全会一致で承認した。2021 年 1 月 31 日現在，会員数 3,258 名で
個人会員は 3,059 名。

2) 2021 年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みについて

各事業担当から提出された内容を取りまとめた 2021 年度事業計画案が示された。また，
2019 年度実績、2020 年度の事業実施状況等を踏まえ，全体で若干の黒字額を見込む 2021
年度収支予算案が示され，検討の結果，2021 年度事業計画及び収支予算について，全会
一致で承認した。

3) 旅費支給内規の一部改正について

財政改善検討 WG 中間報告を受けて「大会参加費が研究費等で支弁されない受賞者に限
り旅費を支給する」旅費支給内規の一部改正の提案があり，全会一致で承認した。

4) 松野賞受賞者選定規程及び掲載料免除規程の一部改正について

財政改善検討 WG 中間報告を受けて「松野賞受賞者の気象集誌・SOLA への発表論文に
係る掲載料免除は廃止する」松野賞受賞者選定規程及び掲載料免除規程の一部改正の提
案があり，全会一致で承認した。

5) 声明等の取り扱いについての一部改正について

2020 年 10 月の日本学術会議第 25 期推薦会員任命拒否に関する緊急声明への対応を踏ま
え，緊急時などにおける理事会での承認による声明にも対応できるよう，声明等の取り
扱いについて（理事会申し合わせ）の一部改正の提案があり，全会一致で承認した。

6) 共同利用・共同研究拠点に係る要請書等について

京都大学生存圏研究所，東京大学海洋研究所の共同利用・共同研究拠点の継続認定（要
請），東北大学災害科学国際研究所の共同利用・共同研究拠点化に関する要望書，京都大
学防災研究所の共同利用・共同研究拠点の認定（要望），名古屋大学宇宙地球環境研究所
の共同利用・共同研究拠点の継続認定（要請）について，既に了承された件の報告があ
った。また，千葉大学環境リモートセンシング研究センターの共同利用・共同研究拠点
の継続認定（要請）および，新潟大学災害・復興科学研究所等の共同利用・共同研究拠

点化に関する要望書について提案があり、全会一致で承認された。

2. 報告事項

1) 業務執行理事の報告

庶務担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

・転載許可

①申請者：国立科学博物館 産業技術史資料情報センター長 鈴木一義

転載元：気象集誌，第2輯，第18巻，第10号(1944)，中谷宇一郎，孫野長治：凍上の機構について，1-9，第5図

転載先：技術の系統化調査報告（2021年3月発刊予定）

②申請者：申請者：(株)杏林書店 佐藤直樹

転載元：気象集誌第90巻B 33-45頁「Numerical Simulation of Urban Heat Island Effect by the WRF Model with 4-km Grid Increment: An Inter-Comparison Study between the Urban Canopy Model and Slab Model」, Fig5

掲載先：体温の“なぜ？”がわかる生理学

・後援名義等使用依頼受付

①名称：第25回「震災対策技術展」横浜

主催：「震災対策技術展」横浜 実行委員会

期日：2021年2月4, 5日

場所：横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）

名義：後援

②名称：第26回計算工学講演会

主催：一般社団法人 日本計算工学会

期日：2021年5月26日～28日

場所：北九州国際会議場 及び 西日本総合展示場新館

名義：協賛

③名称：International workshop for mid-latitude air-sea interaction: advancing predictive understanding of regional climate variability and change across timescales

主催：科学研究費補助金・新学術領域研究「変わりゆく気候系における中緯度大気海洋相互作用ホットスポット」

期日：2021年6月8～9日，6月12～14日

場所：北海道大学 国際学術交流会館

名義：後援

・寄付者リスト（2021.11.10～2021.2.4）

なし

会計担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

・2020年12月分の収支及び現預金検査報告。

- ・2015 年～2020 年 12 月の流動資産の月別推移。2020 年はマイナスに落ち込む月はないが、安心できる状況ではない。
- ・2020 年度秋季大会経費の決算報告が講演企画委員長から佐藤理事長へ提出された。
- ・第 5 回理事会において承認された「基本財産（一部）の運用満期に伴う今後の対応」として、国際学術交流基金の 1,600 万円で共同発行市場公募地方債を購入した報告がされた。
- ・事務局移転に伴う経費の決済報告がなされた。
- ・旧気象庁庁舎の倉庫に保管していた気象研究ノート等の資料を新事務局で収納するラックの購入が提案され、承認された。

企画調整担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

- ・事務局の横手氏と志村氏が 2021 年 3 月末をもって退職し、次年度は体制が変更となる。
- ・気象庁が、気象業務産学官連携協議会（仮称）の立ち上げを計画している。

2) 委員会報告

講演企画・・・以下の内容が報告された。

- ・2021 年度春季大会について、大会実行員会・教育と普及委員会と情報共有しながら準備中。経費節減のため予稿集を Python で内製化。
- ・受賞記念講演は希望者のみ現地参加、他はリモート参加を検討。

天気編集・・・以下の内容が報告された。

- ・Vol.68 No.1, 2, 3 (2021 年 1, 2, 3 月)の掲載記事と、Vol. 68 No.4, 5 (2021 年 4, 5 月)の予定記事の報告。
- ・掲載料免除申請 1 件を承認。
- ・「天気」冊子体不要の申請 1 月は 18 名、総数約 120 名。冊子体不要の申請募集中。

気象集誌編集・・・以下の内容が報告された。

- ・審査中の論文リスト。

- ・J-STAGE 掲載論文のエビデンスデータのアーカイブ先として J-STAGE Data がパイロット運用されている。掲載論文のエビデンスデータについて DOI が付いて永久保存される。気象集誌では J-STAGE Data の先駆的な利用を開始しており、すでに出版されている論文について掲載可能である。J-STAGE Data を積極的に利用してほしい。

SOLA 編集・・・以下の内容が報告された。

- ・論文の投稿・公開状況。
- ・2020 年 11～12 月の掲載論文。

表彰関連・・・以下の内容が報告された。

- ・2021 年度学会賞候補者を選定。
- ・2021 年度藤原賞候補者を選定。
- ・2021 年度岸保・立平賞候補者を選定。

- ・2020 年気象集誌論文賞・SOLA 論文賞を選定。

気象災害・・・以下の内容が報告された。

- ・メソ気象研究連絡会との合同企画により、「令和 2 年 7 月豪雨」をテーマに 3 月 8 日にオンラインで研究会を開催予定。
- ・2020 年 9 月に試行を始めた「気象災害特設ページ」について、今後は本運用することとし、災害発生後の速やかな立ち上げや当該ページの広報・利用促進などに努める。
- ・第 11 回防災学術連携シンポジウム（東日本大震災十周年シンポジウム）「東日本大震災からの十年とこれから～58 学会，防災学術連携体の活動～」(日本学術会議・防災学術連携体共催) が 2021 年 1 月 14 日にオンラインで開催され，当学会から「原子力関連施設事故に伴う放射性物質の拡散監視・予測技術の強化に向けて」と題する発表と冊子への寄稿を行った。
- ・防災学術連携体が持続可能な運営の観点から一般社団法人化を計画していることが報告され，今後も各学協会の集まりという性格，年会費（3 万円）が維持されることなどから，法人化後も引き続き参加し活動を行うことが承認された。

教育と普及・・・以下の内容が報告された。

- ・気象サイエンスカフェつくば（2020 年 11 月 7 日），気象サイエンスカフェ東京（2021 年 1 月 23 日），気象教育セミナー（2021 年 1 月 10 日）の開催（いずれもオンライン）。
- ・ジュニアセッションの開催について，5 月 18～21 日を含む 1 週間程度のオンライン発表。小倉義光・正子基金から従来，交通費の補助をしていたが，2021 年度はジュニアの予稿集と参加賞として書籍「13 歳からの研究倫理」を充てる。
- ・夏季大学の開催計画について，2021 年 8 月頃のオンライン開催を予定。
- ・2021 年の公開気象講演会について，前回中止した「命を守る身近な気象情報」をオンラインで秋頃に実施する。

電子情報・・・以下の内容が報告された。

- ・Google Workspace アカウントに関する問い合わせに 100 件程対応した。
- ・Google Workspace の Google グループを利用して，代替メーリングリストを作成したため，msj-announce は一定期間の周知の後，廃止予定

人材育成・男女共同参画・・・以下の内容が報告された。

- ・ウェブサイト改修及び英文校閲のために謝金の支出が提案され，全会一致で承認された。

3) その他

財政改善検討 WG 中間報告

- ・WG では，気象学会全体の財政状況の把握と検討の進め方を議論し，事業ごとに収支状況の把握と改善に向けた検討を進め，事業の特性に応じた財政改善についても整理した。
- ・その内容が理事会に対する中間報告として，2021 年度事業に反映すべき事項と中長期的な改善を目指す事項に分けて提言などが報告された。

- ・ 理事会は、当該中間報告を踏まえ、旅費支給内規、松野賞受賞者選定規程、掲載料免除規程を一部改正するとともに、当該中間報告の概要を会員に説明することとした。

2021 年度春季大会実行委員会報告

- ・ 開催形式は、感染状況によってハイブリッド開催か完全オンラインかを 3 月 31 日までに会員に周知する。

4) 理事長報告

- ・ 気象学会の若手をエンカレッジするためにも日本学術振興会賞など外部の賞に積極的に応募して頂きたい。

以上について、議事録を作成し、理事長および監事が記名押印する。

2021 年 3 月 26 日

公益社団法人日本気象学会

理事長 佐藤 薫

監事 鈴木 靖

監事 吉田 聡